

## 「道で咲かせよう東北の花プロジェクト～復興五輪版～」実施中！！

このプロジェクトは、東京2020オリンピックにおいて、野球・ソフトボールの会場となる「県営あづま球場」へのアクセス道路の一部を、県民が育てた花で彩る取組です。

この取組は、復興支援への「感謝」やオリンピックに対する「おもてなし」の心を選手・観客などへ伝えるとともに、地元開催のオリンピックに自らが関わる喜びを感じてもらうなど、オリンピック・パラリンピック開催に対する機運醸成を目的としています。来年度の本番に向け、今年度はプレイベントを行っています。

### 定植イベントを行いました！

7月5日（金）に定植イベントを実施しました。球場周辺の小学生や地域住民等が4月から育ててきた約2,800株の花苗と、いわき市内の各団体が育てた約800株の花苗を、地元小学校（佐倉小学校、荒井小学校、佐原小学校、水保小学校）の生徒と地元協力団体が、県道上名倉飯坂伊達線（フルーツライン）のあづま総合運動公園入口交差点に移植し、道路を花で彩りました。



### 杉妻小学校生徒が除雪車見学

6月27日（木）に杉妻小学校の2年生が「町たんけん」で除雪車の見学を行いました。除雪業務の説明、運転席への試乗等を行い、小学生たちは初めて見る除雪車に興味津々で、除雪という仕事について真剣に話を聞いていました。



### 建設業新分野進出

福島県建設業新分野進出企業認定交付式を6月26日（水）に行いました。

福島県では、建設企業の新分野進出事業に対する意欲の向上と、地域経済の活性化、雇用創出と確保へつなげることを目的に、新分野進出を果たした建設企業の認定を平成20年度より実施しています。

今回の認定交付式では、有限会社川崎開発が平成28年度に事業を開始した「一般貨物運送自動車運送業」を認定しました。



記念撮影の様子

左より、  
県北建設 安田所長  
(有)川崎開発 安齋代表取締役  
県北建設 外川企画管理部長



# 「福島県立聴覚支援学校福島校」校舎改築工事が完了しました！

「福島県立聴覚支援学校福島校」は、聴覚に障がいがある幼児・児童が学ぶための特別支援学校であり、昭和33年に建設されました。築後60年が経過し、施設の老朽化が著しく、幼児・児童の学習活動への支障をきたしていることから、安心・安全で適切な学習環境を備えるための改築事業を進めており、令和元年6月18日に校舎の改築工事が完了しました。

今後は既存校舎の解体工事、グラウンド整備工事を行い、令和2年度の完成を予定しております。

## <設計コンセプト>

### 1. 自然条件・周辺条件に配慮した施設づくり

学校生活音の影響に十分配慮した配置とし、グラウンドが利用しやすい施設整備としました。

### 2. 円滑に学校運営・管理が行える施設づくり

学校生活の安全性、緊急時の避難経路に配慮した施設整備としました。また、光や風を室内に取り込みやすい施設配置としました。

### 3. 快適な学習環境づくり

見やすい位置への情報表示モニターの設置、交流の場となるオープンスペースや図書室の配置等により、快適な学習空間としました。



建物外観



室内（廊下）



室内（昇降口、下駄箱）



室内（図書室）

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2514 FAX 024-521-2849

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a>

